



あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

11

NO.855



厚真町まちなか交流館が リニューアルしました！



住民課福祉グループ（総合ケアセンターゆくり内） ☎26-7872
まちなか交流館 ☎29-7022 開館時間：8時30分～18時

B型事業所

障がい福祉サービス就労継続支援B型事業所の名称が「落葉樹色のジェラート very motch」になりました。

○ジェラート製造コース

町内産の食材などを原料にしたジェラートは、テイクアウトやオンラインでも販売。

○焼き菓子製造コース

町内産「さくら米」の米粉を使用した焼き菓子（マドレーヌなど）を製造、販売。

○カフェスタッフコース

片付けや清掃から少しずつできることを増やして、雰囲気慣れながら盛り付けや接客もできるように取り組んでいます。

○デザインコース

交流館のチラシやポップなどをはじめ、アイディアを話し合いながら取り組みます。

カフェ

明るい雰囲気の中で、友人たちとジェラートやコーヒーが楽しめます。
17時のオーダーストップまで、軽食も提供しています。
小上がりや椅子席、ソファ席があり、ゆっくりとくつろぐことができます。

バス待合

バスの到着時間まで、ソファ席で休憩することができます。

地域活動支援センター

創作・生産活動の機会の提供や社会との交流活動の促進などを行っています。



ひとのうごき

人 □ 4,315人（-5）
男 2,184人 女 2,131人

世帯数 2,123世帯（-2）

10月31日現在 （ ）内は前月比

10月1日～31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

11

NO.855

- 2ひとのうごき
- 3まちなか交流館がリニューアル
- 4-5令和5年度各会計の予算執行状況
- 6-8町からのお知らせ
- 9あつま国際雪上3本引き大会
歳末助け合いチャリティー即売会
- 10-11まちの話題
- 12気象台ノート
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 13防災のページ
- 14-15保健の掲示板
- 16健康情報
- 17子育て支援センター
まちのアイドル／町職員の人事異動
- 18厚高インフォ／よりみち通信
- 19将来の夢／地域おこし協力隊
- 20-21町民の活躍／情報ひろば
- 22ATSUMA LOVERS

COVER

今月の表紙



こぶしの湯あつまに隣接した特設会場で10月1日、「あつまマルシェ」が開かれ、農園や飲食店など21事業所が秋の味覚を提供。新米すくいやジャガイモの袋詰めでは、親子の笑顔が広がりました。

特別会計

特別会計は、市町村が行っている特別の事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために一般会計とは分けて経理するものです。厚真町には現在、下表の6つの特別会計があります。

特別会計名	予算現額	収 入		支 出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	6億634万円	2億2,016万円	36.3%	2億4,582万円	40.5%
介護保険事業	5億8,337万円	2億6,581万円	45.6%	2億3,573万円	40.4%
介護サービス事業	4,341万円	0万円	0.0%	1,879万円	43.3%
簡易水道事業	7億9,694万円	6,115万円	7.7%	2億7,637万円	34.7%
公共下水道事業	2億7,438万円	2,723万円	9.9%	8,549万円	31.2%
後期高齢者医療	9,910万円	3,144万円	31.7%	2,215万円	22.4%

町債（地方債）

国などから借り入れた長期間の借入金です。

区 分	金 額
一 般	122億7,684万円
簡易水道事業	54億4,949万円
公共下水道事業	9億7,500万円
合 計	187億133万円

一時借入金

一時的に金融機関から借り入れて支払いに充てるお金です。

区 分	金 額
一 般 会 計	なし
特 別 会 計	なし

財産

財産は、出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。

区 分	金 額
出資による権利	1 億8,685万円
債 権	1 億1,661万円
基 金	112億8,311万円

区 分	面 積
土 地	2,528万4,598㎡
建 物	9万4,342㎡

※令和5年9月末の人口・世帯数で算出しています

町民1人・1世帯あたりの比較		合 計	町民1人あたり (4,320人)	1世帯あたり (2,125世帯)
予 算（一般会計＋特別会計）		124億8,217万円	288万円	587万円
町 債（地方債）		187億133万円	432万円	880万円
財 産	出資による権利・債権・基金	115億8,657万円	268万円	545万円
	土 地	2,528万4,598㎡	5,852㎡	1万1,898㎡
	建 物	9万4,342㎡	21㎡	44㎡



令和5年度 各会計の予算執行状況

地方自治法および町条例の規定に基づいて、令和5年度各会計予算の歳入・歳出、町債（地方債）、財産の状況についてお知らせします。

※各項目の合計と総額の相違は、端数処理によるものです。
※9月末現在

問い合わせ 総務課 財政グループ ☎27-2481

一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。

歳 入	予算現額	収入済額	収入率
町 税	14億9,334万円	8億9,539万円	60.0%
地 方 譲 与 税	9,766万円	3,755万円	38.5%
地方消費税交付金	1億1,600万円	6,996万円	60.3%
地 方 交 付 税	28億7,300万円	17億4,947万円	60.9%
分担金・負担金	3,109万円	375万円	12.1%
使用料・手数料	1億3,568万円	6,017万円	44.3%
国 庫 支 出 金	11億3,708万円	7,608万円	6.7%
道 支 出 金	8億5,243万円	1億6,943万円	19.9%
財 産 収 入	6,369万円	4,183万円	65.7%
繰 入 金	13億9,412万円	3億7,870万円	27.2%
繰 越 金	2億7,382万円	2億7,382万円	100.0%
諸 収 入	1億6,777万円	5,192万円	30.9%
町 債	10億1,680万円	0万円	0.0%
そ の 他	4億2,609万円	1億1,695万円	27.4%
歳 入 合 計	100億7,861万円	39億2,507万円	38.9%

用語の説明

町税

町内の住民や企業などから集められるもの。
町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税。

地方交付税

地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを確保できるよう財源を保障するもの。

国庫・道支出金

特定の行政目的を達成するために国や道から町に交付されるもの。

町債（地方債）

自治体の借入金でその返済期間が2年以上にわたるもの。

歳 出	予算現額	支出済額	執行率
議 会 費	6,040万円	3,117万円	51.6%
総 務 費	11億9,927万円	3億3,434万円	27.9%
民 生 費	12億7,377万円	4億3,076万円	33.8%
衛 生 費	5億2,449万円	1億20万円	19.1%
労 働 費	2,627万円	1,002万円	38.2%
農 林 水 産 業 費	11億3,815万円	3億2,749万円	28.8%
商 工 費	2億2,994万円	1億829万円	47.1%
土 木 費	21億4,456万円	4億163万円	18.7%
消 防 費	3億6,575万円	1億5,819万円	43.3%
教 育 費	5億8,081万円	2億327万円	35.0%
公 債 費	16億3,578万円	10億972万円	61.7%
給 与 費	8億8,834万円	3億9,550万円	44.5%
予 備 費	1,102万円	0万円	0.0%
歳 出 合 計	100億7,861万円	35億1,062万円	34.8%

使い道

議会費：議員の報酬、手当

総務費：町の一般的な事務、まちづくり

民生費：福祉の充実

衛生費：医療の充実・ごみ処理

労働費：労働者福祉事業

農林水産業費：産業振興

商工費：商工振興

土木費：道路、河川の整備

消防費：消防、災害対策

教育費：学校教育・生涯学習の推進

公債費：借入金の返済

給与費：職員の給料、手当

予備費：予備のお金

安平・厚真行政事務組合からのお知らせ

安平・厚真行政事務組合 ☎ 22-3151
住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

せん定枝の回収について

11月末日でせん定枝の無料回収が終了します。12月から3月までは有料となり、期間中はもやせるごみ用の有料指定袋(ピンク色)を枝に直接巻き付けて、火曜日にごみステーション横に出してください。
※じん芥処理場に自己搬入する場合も、もやせるごみとして有料となります。

資源回収袋の生産中止について

当組合の有料指定ごみ袋のうち、3種類の資源回収袋(20ℓ・30ℓ・40ℓ)は、いずれも原材料費等の高騰で、販売価格よりも生産単価が上回っています。
このため、組合は、今後も安定した運営を続けるために、今年度以降は資源回収袋の生産を行わず、今後は市販のビニール袋での排出をお願いすることにしました。
詳細は、改めてお知らせしますが、それまでの間は引き続き組合指定袋での排出をお願いします。



年末年始のごみ収集について

12月29日(金)～1月3日(水)は休業です

※じん芥処理場も休業します
※1月4日(木)から通常どおり

国民健康保険の手続きはお早めに

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

国民健康保険に加入、または喪失するときは、必ず14日以内に手続きを行ってください。

正当な理由なく届け出が遅れると、加入の届け出の前日までの医療費が原則全額自己負担になったり、喪失の届け出までの保険料の変更(減額)ができない場合があります。
※同居するご家族以外の方の申請には、委任状が必要です。

喪失の届け出が必要な場合	必要なもの
・厚真町外に転出した	・国民健康保険証
・社会保険などほかの保険に入った	・国民健康保険証
・家族の保険の被扶養者になった	・新しい保険証または健康保険資格取得証明書
・生活保護の受給を開始した	・国民健康保険証 ・生活保護開始決定通知書
・死亡した (葬祭費の申請をする場合)	・国民健康保険証 ・喪主の氏名が確認できるもの(会葬礼状はがきなど) ・喪主名義の口座が確認できるもの

加入の届け出が必要な場合	必要なもの
・退職により社会保険などほかの保険をやめた	・社会保険等資格喪失証明書
・家族の扶養から抜けた	(退職した職場もしくは社会保険事務所から発行されます)

冬のガーデニング講習会

コミュニティ運動推進協議会事務局 ☎ 27-3179
(まちづくり推進課 企画調整グループ)

ご家庭で手軽に楽しくできる冬のガーデニング講習を行います。

日 時	12月8日(金) 13時30分～	定 員	20人 ※先着順
会 場	総合福祉センター大集会室	参加費	1,500円
講 師	梅原智哉氏(梅原商店)	持ち物	シャベル、軍手
内 容	家庭で手軽に楽しめる多肉植物の寄せ植え講習	申し込み	11月24日(金)まで 電話でお申込みください

住まいのゼロカーボン化推進事業補助金

まちづくり推進課ゼロカーボン推進室 ☎ 27-3179

住宅のゼロカーボン化推進を図るため、町では既存住宅の省エネ改修に係る費用の一部について助成します。

①断熱改修

対 象▶住宅全体の断熱改修を行い、改修後、断熱性能等級5相当以上となる工事

補助額▶当該工事費から本補助金以外の補助金等の額を差し引いて得た額の1/2以内かつ限度額以内

限度額▶・断熱性能等級5相当…40万円
・断熱性能等級6相当以上…100万円

②開口部改修

対 象▶住宅全体の開口部(窓・玄関ドア等)を断熱性能の高いものに改修する工事

補助額▶当該工事費から本補助金以外の補助金等の額を差し引いて得た額の1/2以内かつ以下の限度額以内

限度額▶・窓(U値1.6W/㎡・K以下)
…箇所当たり27,000円、上限30万円
・玄関ドア(U値2.3W/㎡・K以下)
…箇所当たり15万円

③高効率設備導入

対 象▶給湯または冷暖房設備について次のいずれかの機器を導入する工事
(1)ヒートポンプ式給湯・冷暖房設備
(2)ハイブリッド式給湯・冷暖房システム
(3)家庭用燃料電池

補助額▶導入する設備機器に応じて定額を補助
(1)1台当たり5万円
(2)1台当たり10万円
(3)1台当たり15万円

④V2H設備導入

対 象▶電気自動車に太陽光発電設備等から充電が可能で、電気自動車から住宅に電力供給が可能な双方向充放電器設備の導入工事

補助額▶当該工事費から本補助金以外の補助金等の額を差し引いて得た額の1/2以内かつ限度額以内

限度額▶35万円

⑤ゼロカーボン化推進支援

対 象▶上記①～③の補助対象工事のいずれかの工事を行う場合にゼロカーボン化推進支援として補助金額を増額

補助額▶①～③の補助対象工事で交付される補助金額の1/2以内かつ限度額以内

限度額▶25万円

共通要件

●対象者

次の条件全てに該当される方
・町内に住所を有し、町内で自己居住を目的とした住宅の改修を行う方
・町税の滞納のない方

●その他

・本補助金の交付決定を受けてから施工業者との契約を締結してください。交付決定以前に契約された工事は補助の対象となりませんのでご注意ください。
・受付は先着順で、予算の範囲を超えた時点で終了します。

厚真町在宅高齢者介護休養手当金

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

要介護者を介護しているご家族に、日ごろの労をねぎらうため在宅高齢者介護休養手当金を支給します。

支給対象者

以下の要件の全てを満たす方
・要介護3以上の認定を受けた家族を自宅で介護している方
・令和5年4月1日から9月30日までの間、町内に住所を有し、現に要介護者と同居している方
・無報酬で介護されている方

支給額

月額1万円

申請方法

支給要件に該当される方は、申請書に必要事項を記入して福祉グループ窓口へ提出してください。

あつま国際雪上3本引き大会

参加チーム募集!!

厚真の冬の一大イベント「あつま国際雪上3本引き大会」を開催します。
白熱した戦いで皆さまに元気をお届けします。ぜひ観戦にお越しください。
また、大会に参加するチームを募集しています。
お友だちや職場の仲間同士などでチームを作ってご参加ください！



日時：令和6年1月21日（日）競技開始10時～

場所：かしわ公園野球場（本郷283-1）

人数：1チーム競技者8人～16人

※競技人数…8人

※登録人数…最大16人まで可能

参加費：1チーム10,000円

※昼食にうどん、おにぎりを用意（予定）

申し込み・問い合わせ

12月18日（月）までに持参・ファックス・郵送
にて申込書を実行委員会に提出してください。

あつま国際雪上3本引き大会実行委員会
京町37番地（町商工会内）
電話：27-2456 ファックス：27-3877

寄付のお願い

衣類、運動用品、台所用品の寄付をお願いします。
※衣類については洗濯してあるもの
※家電用品、家具類など大きくて運びにくいものは不可

◎回収期間
11月13日（月）～11月22日（水）

◎回収場所
地区のコミュニティ推進員のお宅
または総合福祉センター
※売れ残った商品の処分に費用がかかるため、精査の
うえご協力いただきますようお願いします。

繊維リサイクルのお願い

繊維リサイクルとは、古衣料をウエス（工業用雑巾）に
再生することです。
「チャリティー即売会には古すぎてダメだけど、繊維リサ
イクル用としてなら良いかな」という衣料がありましたら、
繊維リサイクルについてもご協力ください。

◎通年回収先
総合福祉センター、厚南会館、
こども園つみきで回収しています。

とき

12月1日（金）10時～12時

ところ

総合福祉センター2階青年室

コミュニティ運動推進協議会事務局（まちづくり推進課企画調整グループ内） ☎27-3179

町公式LINEをご活用ください

まちづくり推進課 企画調整グループ ☎ 27-3179

厚真町LINE公式アカウントを運用しています。

受信設定で必要な情報が届きます

災害時の緊急情報や災害支援情報、イベン
ト情報などを配信しています。

〔配信内容〕

- ・災害時の緊急情報 ・災害支援情報
- ・町政情報

※受信設定のアンケートで質問に回答する
と、受信したいメッセージを受け取るこ
とができます。受信設定は、随時変更す
ることができます。

各種税証明の請求ができます

マイナンバーカードを用いて、各種税証明
書も請求できます。請求された証明書は、
郵送でお届けします。

利用方法

LINE を起動して、以下のいずれかの方法で厚真町公式
LINE を友だち登録してください。

- ①厚真町公式LINEのID「@atsuma」を
検索して友だち追加する
- ②右のQRコードを読みとり
友だち追加する



■お願い

- ・当アカウントへいただいた投稿等に対して、個別に回
答しません。あらかじめご了承ください。
- ・スクリーンショット画像をインターネットなどに掲載
すると、情報に変更があった場合に反映されません。
必ずリンクを掲載してください。

年末のパスポート発行

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

パスポートの年内受け取りは早めの申請をお願いします。

パスポート（旅券）の年内受け取りを希望する方は、
次の期日までに申請手続きを済ませるようお願いし
ます。

申請書に不備がある場合などは、年内に旅券の受
け取りができないこともあります。年末年始に旅行
を計画される方は、早めの申請をお願いします。



年内の受け取り

12月29日（金）まで
※12月30日（土）から1月4日（木）までは閉庁

年内受け取りの申請期日

12月15日（金）16時30分まで
※年末年始は窓口の混雑が予想されます。
余裕を持ってお越しください。

土地・家屋の現所有者の申告

住民課 税務グループ ☎ 26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

名義人の死亡により現所有者となる方で、3カ月以内に名義変更しない場合は申告が必要です。

固定資産税は、賦課期日（各年の1月1日）時点で
登記簿または固定資産税課税台帳に登録または登録
されている方に納めていただくものです。

しかし、上記の方が賦課期日前に亡くなっている
等の理由により存在しない場合には、当該固定資産
を現に所有している方（現所有者といいます）に固定
資産税を納めていただきます。

登記名義人等が亡くなり、町内の土地・家屋の現
所有者となる方で、下記の申告期限までに不動産登
記上の名義変更手続き（相続登記）などをしない場合
は、住民課税務グループに現所有者の住所、氏名な
どの申告が必要です。

申告期限

ご自身が現所有者であることを知った日の翌日から
3カ月を経過した日

厚真町花き部会が 小・中学校などに花束を寄贈

厚真町花き部会（桐木洋光部会長）は9月25日、町内の小・中学校4校などに花束を贈りました。

町内の会員14人が栽培している花のPRを兼ねたもので、小学校2校、中学校2校、町役場にカーネーションや洋菊（マム）などの花束を届けました。

上厚真小学校では、清水京子校長と児童会長の三浦菜さんがお出迎え。桐木部会長が「暑い夏を乗り越えた花です。楽しい学校生活を送ってください」と話すと、三浦さんは「きれいなお花を有難うございます。玄関に置いて、皆で楽しめます」とお礼を述べました。



花束贈呈を喜ぶ清水校長と三浦さん

厚南中学校1年の渡邊聖涼さんが 公共施設を取材



新町シェアサテライトオフィスを取材する渡邊さん

厚南中学校1年の渡邊聖涼さんが10月6日、職場体験で新町シェアサテライトオフィスを取材し、利用状況をまとめました。

（以下、渡邊聖涼さんが執筆）

オフィスは、旧厚幌ダム事務所を町が改修しました。6カ月以上の利用を前提としたオフィススペース3室のほか、1カ月単位で借りられるデスクスペースとカウンタースペースが各7席あり、会議室や共用スペースなども備えています。

施設の利用率は開設当初29%でしたが、今年8月末現在で81%と向上しています。経済グループの澤井さんは「コロナ禍で、リモートワークなどを希望する人は増えました。快適に仕事ができる環境を提供して関係人口を増やしたい」と話しました。

JAとまこまい広域が新米寄贈

JAとまこまい広域の堀弘幸代表理事専務らは10月6日、厚真産の新米「さくら米（ななつぼし）」50kgを町に寄贈し、こども園や小・中・高校の給食で振る舞われました。

堀代表理事専務は「高温障害の懸念もありましたが、美味しいお米ができました」と今年の作柄を説明。宮坂町長は「改めて感謝します。さくら米をもっと定着させたいですね」と語りました。



町に寄贈された50kgの新米

厚真市街地花壇で花の抜きとり

町は10月11日、厚真市街地に彩を添えていた花壇の花を抜き取りました。

花壇整備には、花フレンズや商工会女性部、地域おこし協力隊農業支援員、町職員の約30人が参加しました。まだきれいな花が咲いていましたが、参加者は名残惜しむように1株ずつ花を抜き取り、来年も苗が植えやすいように地ならししました。



花を抜き取る商工会女性部の皆さん



交通事故死ゼロ2000日達成で 北海道知事表彰

交通事故死ゼロ2000日を達成した厚真町は9月19日、総合福祉センターで北海道知事の感謝状を受賞しました。

北海道知事感謝状は、苫小牧警察署の久田悟署長らが見守る中、胆振総合振興局の関俊一局長から町長に贈られました。関局長は「復旧・復興の中での交通死亡事故ゼロ2000日達成を喜び、皆さんと連携して交通安全運動を推進したい」と語り、久田署長は「大変価値があり、事故抑止活動に真剣に取り組まれた結果です」と話しました。これを受けて、宮坂町長は「これがゴールではなく、通過点としてさらに安全・安心の確保と大切さを身に付け、交通マナーを守っていきたい」と述べました。



北海道知事感謝状を抱えて記念撮影する関係者たち



厚真市街地交差点で交通安全を呼びかける参加者たち

秋の交通安全運動街頭啓発

秋の全国交通安全運動初日の9月21日、厚真市街地で「セーフティコールあつま」(町交通安全推進委主催)が行われました。

運動の重点目標は①子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保②夕暮れ時と夜間の交通事故防止および飲酒運転等の根絶③自転車等のヘルメット着用と交通ルール順守の徹底④スピードダウンと全席シートベルト着用です。街頭啓発には、町内の事業所や団体、厚高生など100人が参加し、交通安全を呼びかけました。

胆振東部地震から5年を迎え、町が主催した「復興まちづくりサミット2023」が9月22日に総合福祉センターで開かれ、来場した214人は震災への教訓や復興の現状などに耳を傾けました。

サミットには、熊本県益城町の西村博則町長、熊本県西原村の吉井誠村長、宮城県栗原市商工観光部ジオパーク推進室の佐藤英和室長補佐、長岡技術科学大学の上村靖司教授、東北学院大学の定池祐季准教授ら、国内で震度7を観測・体験した自治体や関係者などが参加しました。

はじめに、西村町長、吉井村長、佐藤室長補佐、上村教授が登壇し事例を紹介。その後、定池准教授が司会を務め、「支える」「つなぐ」「伝える」をキーワードに、登壇者と宮坂町長、胆振東部地震の被災3町の代表者がそれぞれ意見を交換しました。宮坂町長は感謝の言葉と共に「全国の皆さんに、厚真町、むかわ町、安平町の今後の歩みをしっかり見守っていただきたい」とあいさつしました。

復興まちづくりサミット2023



過去の被災地の関係者と町長とのクロストーク

町では、平成30年北海道胆振東部地震の教訓から、地域コミュニティの防災力の強化・推進のため、自治会を主体とした自主防災組織の設立と避難計画策定の支援を行っています。

また、新しく設立された自主防災組織への防災資機材の無償貸与および活動費援助なども行っており、新設された自主防災組織では、活発かつ充実した防災活動が行われています。

このほか、北海道では地域の防災リーダー育成のための「北海道地域防災マスター認定研修会」を開催。1日の研修を受けることで防災マスターに認定され、本町でもこれまで多くの方が研修会を受講して認定を受け、地域の防災リーダーとして活躍されています。

自主防災組織の役割		自主防災組織の活動	
自主防災組織とは、防災に関する住民の責務を果たすため、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づいて自主的に結成する組織です。	平常時	防災知識の普及・啓発 地域内の安全点検 防災訓練	家庭内の安全や地域の危険性など、防災訓練を通じて災害に備える活動など
	災害時	情報の収集・伝達 安否確認 避難行動要支援者の避難支援 住民の避難誘導 救出救護 初期消火 避難所の管理・運営	地域内で災害が発生するおそれがある時、発生した時に人命を守り災害の拡大を防ぐ活動など

防災資機材の無償貸与

自主防災組織を設立していることが条件で、かつ、一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成事業が不採択となった場合、防災資機材（消耗品を除く）を上限200万円の現物支給で、町が無償貸与するものです。

町では、自主防災への取り組み説明会、自主防災組織の設立、避難計画等の作成、防災訓練等への支援および防災資機材の無償貸与、防災活動費補助、新しく作成・配布した厚真町総合防災マップの勉強会なども開催しています。

ご希望・お問い合わせは、役場総務課防災グループまで、ご相談ください。

停電対策用
発電機、発電機用燃料携行缶、コードリール、延長コード、投光器、ヘッドライトなど

断水対策用
給水缶（タンク）、ポリタンクなど

避難所生活用
避難所用シート（マット）、ダンボールベット、毛布、折り畳み式簡易ベッド、防災テントなど

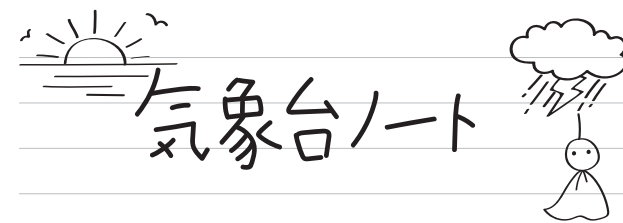
救護・避難用
標旗、リヤカー、ショベル、ラジオなど

避難用
強力ライト、標旗、メガホン、ロープなど

その他
保管用倉庫、その他町長が必要と認めたもの



防災資機材の例



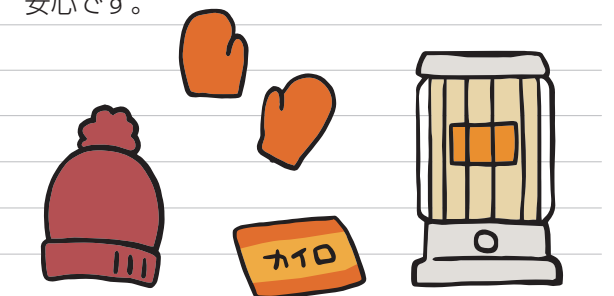
いつ起こるか分からない災害に備えて 寒さ対策もお忘れなく

今年は、北海道胆振東部地震から5年、北海道南西沖地震から30年、関東大震災から100年となるなど、過去の地震災害を振り返るとともに、今後に備える取り組みが行われています。

北海道胆振東部地震では、道内全域で大規模停電が発生し、断水が起こって飲食が困難になり、携帯電話がつながりにくく、連絡や情報入手が困難になったほか、交通機関が運休するなど、私たちの日常生活に大きな影響が出ました。また、厚真町を中心に大規模な斜面崩壊が起こり、多くの死傷者が出たほか、厚真町の火力発電所と室蘭市の石油コンビナート施設の火災、登別市、安平町、むかわ町などで多数の住宅被害が発生しました。

いつ起こるか分からない地震に対して、みなさんは日ごろからどういう備えをしていますか。水や食料の備蓄、非常時の持ち出し品の準備、家の中や職場で家具などが倒れてこないように、耐震固定をしておきましょう。地震が発生した時の連絡手段や集合場所について、あらかじめ家族で話し合っておくことも大切です。

また、冬季に地震が発生した場合に備え、防寒具や手袋などの防寒グッズをまとめておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。ポータブルストーブや使い捨てカイロなど、電気がなくても使える暖房器具も準備しておく心安心です。



住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は9月末時点で全世帯数の92.7%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署では未設置の住宅への普及・促進に取り組んでいます。



問い合わせ
胆振東部消防組合
消防署厚真支署
☎26-7119

洗濯物の失火を未然に防止！

住宅用火災警報器の作動に気づいた家族が、消火器で初期消火して難を逃れました。原因は、加湿を兼ねて1階リビングのストーブの上に干した洗濯物の落下。洗濯物を干した後、2階で寝ている最中の出来事でした。

寒さを感じる季節になり、長期間使っていなかったストーブなどは事前の点検や掃除が大切です。住宅用火災警報器は、火災の早期発見や防止につながります。大切な命を守るために、住宅用火災警報器の設置・維持管理をしましょう。

今年度から厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。詳しくは、消防署厚真支署にお問い合わせください。



こどもの予防接種

接 種 日	未 就 学 児	水 曜 日	14時～15時（この時間は一般診療休み）	予防接種 専用サイト 
	小 学 生 ～ 19 歳	月・金 曜 日	9時～12時、14時～17時	
		水 曜 日	9時～12時、15時～17時	
予 約 / 受 付 接 種 場 所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です（予約受付時間：9時～12時、15時～17時）			
持 ち 物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ（保健師）までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス（1価）	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	（初回）27日以上あけて2回 （追加）1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	（初回）生後2～7カ月未満（27日以上あけて3回） （追加）初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	（初回）生後2～7カ月未満（27日以上あけて3回） （追加）生後12～15カ月未満（初回後60日以上あけて1回）
四種混合 （ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ）	生後2～90カ月未満	（初回）生後2～12カ月未満に20～56日あけて3回 （追加）初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 （ジフテリア・破傷風）	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 （麻しん・風しん）	（1期）生後12～24カ月まで （2期）年長児相当（就学前の1年間）	1期、2期ともに1回
水痘（水ぼうそう）	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	（初回）生後12～15カ月未満に1回 （追加）初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ（任意）	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	（1期）生後6カ月～7歳6カ月未満 （2期）9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	（1期初回）3歳：6～28日あけて2回 （1期追加）4歳：1期初回終了後約1年あけて1回 （2期）9歳：1回
HPV （ヒトパピローマウイルス） （9価）	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生（6カ月あけて2回） ※1回目の接種が15歳を越えた場合は3回（2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回）

12月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系	外科系	診療時間：9時～17時		
苫小牧市夜間休日急病センター	日 程	病 院 名	住 所（苫小牧市）	電話（0144）
住 所 苫小牧市旭町2-9-2	3日（日）	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000
電 話 0144-32-0099	10日（日）	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
平 日 19時～翌朝7時	17日（日）	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時	24日（日）	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151
日曜祝日 9時～翌朝7時	31日（日）	につしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

北海道救急医療・広域災害情報システム 近くの医療機関などが検索できます
http://www.qq.pref.hokkaido.jp ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699（携帯・PHSから）



保健の掲示板 12月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871（総合ケアセンターゆくり内）



健診・検診・相談・教室など

①ニューママ ②プレママ教室

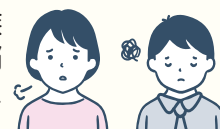
対 象	①産後2～6カ月のママとお子さん ②現在妊娠中の方 ※妊娠12週未満の方、臨月の方はご相談ください。
と き	12月1日（金） 厚真子育て支援センター ①9時30分～10時30分 ※お子さんの計測を希望の方は9時～9時30分にお越しください。 ②10時45分～11時45分
と ころ	
内 容	①ベビーマッサージ、助産師相談 ②マタニティヨガ、助産師相談
持 ち 物	①母子健康手帳、バスタオル、ベビーオイルやベビークリーム ②母子健康手帳、ヨガマット（バスタオル可）、動きやすい服装
申し込み	子育て支援センターまたは健康推進グループ

1歳6カ月児健診

対 象	令和4年3月7日～令和4年6月20日生まれのお子さん
と き	12月20日（水）
と ころ	総合ケアセンターゆくり ※個別に案内します。
持 ち 物	母子健康手帳、歯の健康ノート、バスタオル、歯ブラシ、アンケート

こころの相談

臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。



と き	11月17日（金）、12月15日（金） 10時～15時（1人あたり50分程度）
と ころ	総合ケアセンターゆくり
申し込み	1週間前までにお申し込みください。 （住民課 健康推進グループ）

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相 談 ・ 検 査 の 名 称	日 程
女性の健康相談	
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	12月19日（火）
肝炎ウィルス検査・梅毒検査	
感染が疑われる方は無料（要事前確認）	12月5日（火） 12月19日（火）
骨髄バンク登録	
登録の基準があります	要事前予約（随時受付）
HTLV-1抗体検査	
10日前までに予約してください	12月19日（火）
HIV検査（エイズ相談）	
無料、匿名検査（要事前確認）	12月5日（火） 12月19日（火）
エイズ専用電話☎0144-35-7474	

新型コロナワクチン

〔令和5年秋開始接種〕
9月20日以降は初回接種を終了した生後6カ月以上の方が対象です。
12歳以上の方は、12月21日（木）に総合福祉センターで集団接種を実施します。
使用するワクチンは、オミクロン株対応1価ワクチンです。
対象の方には接種券を送付していますので、案内用紙またはホームページをご確認の上、予約してください。なお、予約枠には限りがありますので、ご了承ください。
初回接種（1・2回目接種）を希望される方で、接種券がない方は、接種券の交付申請が必要です。

厚真町へ転入された方

厚真町へ転入された方で接種券が届かない方は、接種券の交付申請手続きが必要です。



新型コロナワクチン
インターネット予約は
こちらから

／



子育て支援センター

12月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)

厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)

※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 リズムシェイプ

内 容：音楽に合わせて体操します

日 時：12月12日(火) 10時～11時

場 所：厚真子育て支援センター

持ち物：汗拭きタオル、飲み物

定 員：7組

申し込み：12月5日(火)まで

子育て講座 すくすく講座～簡単こどもごはん～

内 容：1歳から食べられるケーキ作り

日 時：12月15日(金) 10時～11時30分

場 所：総合ケアセンターゆくり2階調理実習室

持ち物：エプロン、三角巾、手拭きタオル、おしぼり、飲み物、子ども用スプーンとフォーク、抱っこひも

定 員：5組 申し込み：12月5日(火)まで

※詳しくは子育て支援センター情報誌をご覧ください

子育て講座 編み物講座

内 容：子どものニット帽を作ります

日 時：12月13日(水)・19日(火) 10時～11時

場 所：厚南子育て支援センター

持ち物：毛糸(7号針・8号針用)、かぎ針

定 員：5組

申し込み：12月6日(水)まで

・自由開放 ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜～金曜日 9時～12時、13時～15時

・サークル活動(※予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

★ まちの★

アイドル

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。

〈メール〉 kikaku@town.atsuma.lg.jp

きたじま としきさん

はなおか ゆうかさん

きもと ゆずるさん

町職員の人事異動

10月1日付で人事異動が発令されました。※(一)内は前職

厚真町人事

◆異動

- ・住民課主幹税務グループ ▼篠原拓也(教育委員会事務局生涯学習課主幹学校教育グループ)
- ・主幹学校教育グループ ▼
- ・総務課庁舎周辺等整備推進室主任 ▼山崎友裕(まちづくり推進課ゼロカーボン推進室主任兼務解除)

教育委員会人事

・教育委員会事務局生涯学習課主幹学校教育グループ ▼青木雅人(住民課主幹税務グループ)
- ・教育委員会事務局生涯学習課主任学校教育グループ ▼太田幸平(住民課主任健康推進グループ)

◆退職(8月31日付)

- ▼畑克幸(学校給食センター主査)

◆退職(9月30日付)

- ▼打田奈央(住民課主事町民生活グループ)
- ▼坪井勇大(建設課主事上下水道グループ)
- ▼高橋俊一(建設課主査都市施設グループ)

担当 保健師 佐藤 あゆみ

健康情報

住民課健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)

今月のテーマ

50歳からは気を付けよう帯状疱疹

帯状疱疹とは

帯状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹(水泡)が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患です。水泡が見られる2～3日前からかゆみや痛みを感じるようになり、1週間程度たつと水泡の多発や頭痛といった症状が見られることもあります。通常は2～4週間で皮膚症状が治まります。

帯状疱疹の原因

帯状疱疹の原因は水痘・帯状疱疹ウイルスです。子どものころに水痘(水ぼうそう)にかかると、水痘・帯状疱疹ウイルスが体の中で長期間潜伏感染し、加齢や疲労によって免疫が低下した際などに帯状疱疹として発症します。

予防と治療

予防としては、できるだけ健康的な生活習慣を保つことが大切です。食事のバランスに気を付け、適度な運動と十分な睡眠を心がけ

帯状疱疹になりやすい人

帯状疱疹は、前述のとおり「体内に潜む水痘・帯状疱疹ウイルスが免疫低下によって体表に出てくる際の症状」です。さまざまな免疫低下が帯状疱疹リスクとなりませんが、加齢の影響は大きく、50歳以上になると発症率が急増します。帯状疱疹患者の約7割が、50歳以上の方です。

帯状疱疹ワクチン

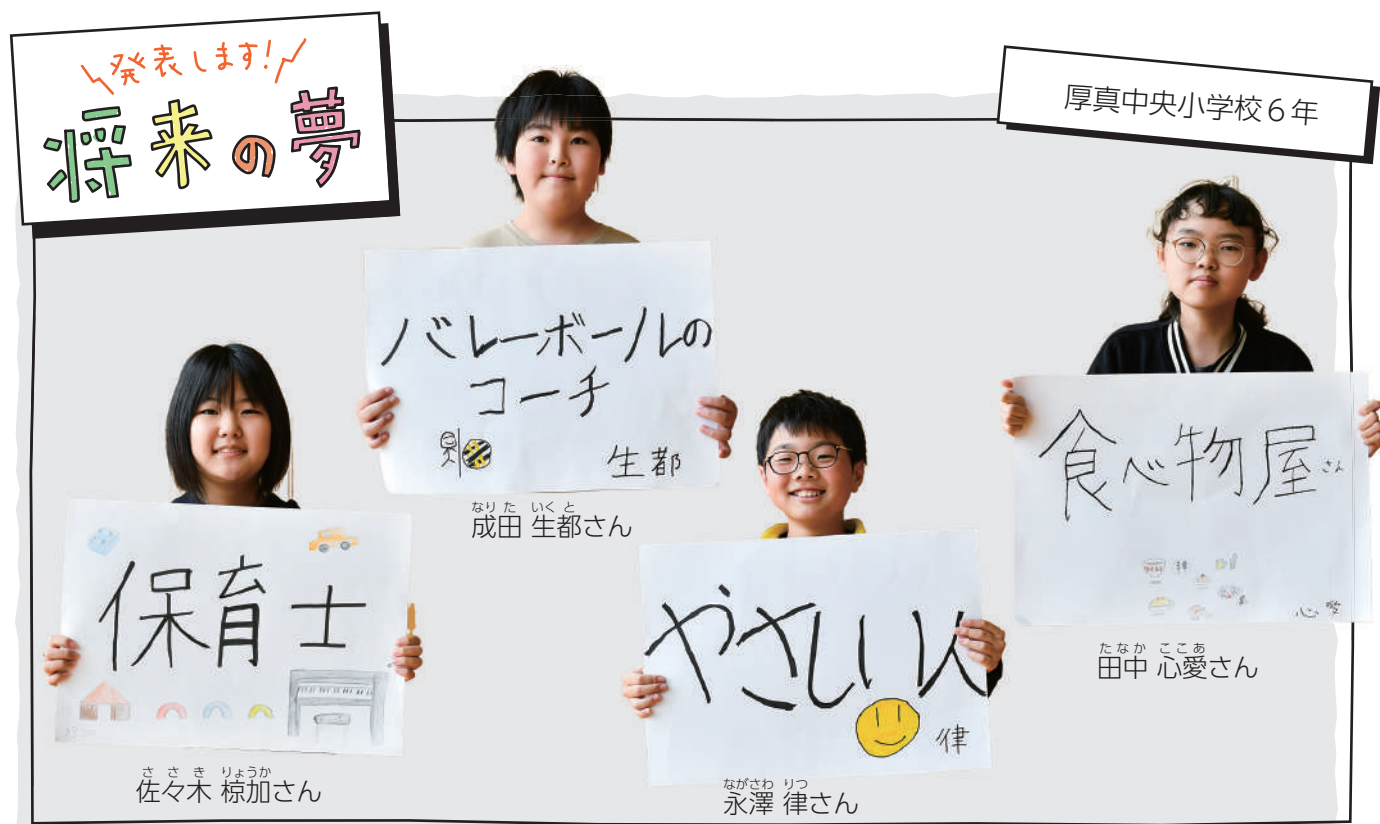
現在、2種類の帯状疱疹ワクチンがあります。効果や接種対象などに違いがあるため、接種については必ず医師にご相談ください。

乾燥弱毒性水痘ワクチン(阪大微研)

種 類	生ワクチン
対 象	50歳以上
接種回数	1回
費用	1万円程度
接種方法	皮下注射
予防効果	69・8%
持続性	5年程度

乾燥組換え帯状疱疹ワクチン(シングリックス(GSK))

種 類	不活化ワクチン
対 象	50歳以上または帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方
接種回数	2回
費用	4万円程度(2回で)
接種方法	筋肉注射
予防効果	96・6%
持続性	9年以上



地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈10月末現在〉

農業▷9人 教育魅力化▷3人 スポーツ▷1人
起業型▷11人 協働型▷12人 福祉▷1人

起業型協力隊
ふくざわ しょうた
福澤 翔太さん

着任：令和5年4月（1年目）
出身：大阪府大阪市



—これまでの経歴を教えてください。

大学を卒業後、警察学校に入学して、法律や書類の書き方など警察官として必要な知識を6ヵ月間学びました。警察学校を卒業すると同時に1年間の交番勤務で地域住民とのかわりを持ちながら経験を磨き、警察署の内勤業務や災害時の派遣対応、防犯警備の担当など、約3年間働きました。

—厚真町ではどのような活動をしていますか？

羊飼いになるため、町内の羊農家さんに通いながら勉強をしています。個体差がある羊の健康観察をしたり、エサをあげたり、春に刈った毛は洗って紡いで糸にしたりしています。野菜を育てている町内の農家さんのところでは、収穫や畑の草取りのお手伝いもしています。学生時代の柔道経験を生かして、町内の子どもたちに柔道も教えています。

—なぜ羊の牧場をやりたいと思ったのですか？

昔から、自然の中で遊ぶことが大好きでした。また、食べ物ではジンギスカンなど羊の肉が好きで、食材を通じて羊の牧場に興味を持ち始めました。少しずつ情報を集めて勉強するうちに、自分で牧場をやりたいと思うようになりました。

—厚真に来ようと思ったきっかけは？

羊の牧場をやるなら飼育頭数が多く、たくさん学べそうな北海道でやる！と決めていました。北海道内を旅行しながら牧場をまわり、情報収集をしていた中で、厚真町の起業型地域おこし協力隊制度を知って応募することにしました。

—町の印象を教えてください。

優しい人が多いと感じています。さまざまな人が、自分のことを助けてくれる環境があると思っています。少年柔道を教えるようになったのは、農家さんへのお手伝いがきっかけになりました。人とのつながりができていくのが良いところだと思います。

—3年後の目標は？

まずは、1人で羊が飼育できるように知識やスキルを習得していきたいですね。狩猟免許を取得したので、ジビエ料理にも挑戦したいし、食肉や加工品の販売、ゲストハウスの運営も手掛けてみたいです。羊飼いという生き方で牧場をやりながら好きなことをして豊かに暮らしたい。夢は膨らみます。

AZUKO Information



厚高インフォ

Vol.287

学校の取り組みは
ホームページでも！



■稲刈り体験（9月21日）

地域に根ざした特色ある取り組みの一環として、町観光協会主催の「田んぼのオーナー」に参加。米づくり体験を通して、土や作物に触れながらクラスの交流を深め、学校ではできない体験や知識を深めました。今年5月に植えた稲はスクスク育ち、稲刈りで豊かな実りを実感しました。後半は雨に見舞われましたが、貴重な経験になりました。

■13・7kmの全校強歩大会（9月22日）

今年度から市街地へコースを変更し、個々の体力に応じて、ペース配分を考えながら13・7kmの完走をめざしました。トップでゴールしたのは2年生の鎌田倅人くん、1時間15分18秒でした。当日は65人が全力疾走し、全員が完走しました。ゴールでは、公営塾スタッフとPTAがハスカップジュースを振る舞いました。コース変更に伴い町民の皆さんからたくさん応援をいただきました。ご協力



稲刈り体験

ありがとうございました。

■後期始業式・生徒会役員認証式（10月3日）

今年度の後半が始まり、始業式を行いました。伝達表彰では、新人陸上競技大会、写真部の支部大会の結果報告、数学検定準2級の表彰が行われました。佐瀬雅彦校長から「自分を大切にすること。規則正しい生活をして、勉強は諦めずに粘る」と講話がありました。また、生徒会役員認証式を行い、校長から新生徒会役員に任命書が渡されました。

■体験入学（10月5日）

中学3年生を対象にした体験入学を行いました。総勢39人が参加し、体育館で開いた全体会では、生徒会が制作した動画で学校を紹介。その後、教室7カ所に分かれて体験授業を行いました。来春の入学を心待ちにしています。

自立と感謝

9月22日に開催された厚真高校強歩大会。今年度は、地域と結びつくという目標が達成され、厚高生にとって実り多い秋になりました。

大会は、先生と相談して大きく2点変更しました。まず、コースの変更です。住宅地などを巡るコースに変えて、町民の皆さんの目に触れるコースにしました。陸上を教えているスタッフの川嶋が試走して13.7kmのコースを設定。また、前日には体育委員長の生徒が、防災行政無線でコース変更や生徒への応援を呼びかけ、町民の皆さんから厚高生に数多くの声援をいただき、給水所とトイレの貸し出しに協力していただきました。

もう一つの変更点は、完走後にあります。山口農園さんからハスカップジュースのシロップをいただき、料理が得意なスタッフの山中が朝早くから仕込んでゴール後の生徒たちに提供しました。気温が高い中、参加者65人は見事に全員完走し、達成感のなかでハスカップジュースを味わいました。

私は、自立とは感謝を感じ伝えることだと思っています。多くの方への感謝で溢れた強歩大会。応援を受けて走る生徒の笑顔と背中が、いつもより輝いて見えた1日になりました。心から「ありがとう」をいえた分だけ、生徒たちの自立は大きな一歩になっていくと確信しています。強歩大会の様子は、映像でも編集・作成し、厚高体育館で放映して互いに価値観を高めました。

教育魅力化支援員 加藤 千昇



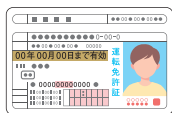
強歩大会を終えて
充実した表情をみせる厚高生

よりみち通信



「よりみち学舎」は
厚真高校と地域が
連携しながら
放課後を利用して
生徒が自ら目標を発見し
挑戦する公営塾です。

運転免許証 更新時講習



12月

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。
この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

10時30分～11時
1日(金)、5日(火)、6日(水)、8日(金) 12日(火)、14日(木)、19日(火)、20日(水) 21日(木)、27日(水)、28日(木)
13時30分～14時
7日(木)、15日(金)、22日(金)、26日(火)

(一社)苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

町税・保険料 今月の納期



科目	固定資産税(第3期)
納期	11月30日(木)

問い合わせ
住民課 税務グループ
町民生活グループ ☎26-7871

まちの善意



働きたいと思われている人の就労自立支援施設です。就職相談も歓迎

働きたい人のための出張相談会

室蘭開発建設部厚真川水系砂防事業所(☎0144-57-9832)

■連絡先

12月25日(月)

■期限

12月25日(月)

■期

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■対

12月25日(月)

■日

12月25日(月)

■時

12月25日(月)

■予

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)

■場

12月25日(月)



第57回全日本サーフィン選手権大会2023(9月30日～10月6日、宮崎市木崎浜海岸)

- 村上慶砥さん(厚南中学校1年)
キッズクラス:第3ラウンド進出
- 平田将大さん(厚真高校1年)
ボーイズクラス:第2ラウンド進出
- 三浦菜さん(上厚真小学校6年)
ボディボードウィメンズクラス
第2ラウンド進出



大会出場前に健闘を誓った村上さん、平田さん、三浦さん(左から)

大会メモ



本大会は、全国の支部を勝ち抜いた選手のみが出場できるトップクラスの戦いです。キッズクラスは65人、ボーイズクラスは68人、ボディボードウィメンズクラスは55人がエントリーしました。

厚真町から出場する選手にとって、これまで初戦突破が課題でした。しかし、今大会では、3選手とも見事に課題を克服して実力を発揮しました。3選手の活躍は、後輩たちへの刺激と目標となり、サーフィンのメッカ・厚真町の地域振興や関係人口の創出などの大きな礎になると期待されています。

☎…電話 E…Eメール H…ホームページ FAX…ファックス

情報ひろば

自衛官募集 問い合わせ 自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所 ☎0144-32-3725

■一般曹候補生(第3回試験)

応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)
受付期間▶11月30日(木)まで(締切日必着)
試験日程▶12月9日(土)～14日(木)のいずれか1日
試験科目▶筆記試験(国語・数学・英語・作文・適性検査)

■高等工科学校生

応募資格▶15歳以上17歳未満
受付期間▶令和6年1月5日(金)まで(締切日必着)
試験日程▶1月13日(土)か14日(日)のいずれか1日
試験科目▶筆記試験(国語・数学・英語・社会・理科・作文)

こぶしの湯 あつま イベントカレンダー12月

日	月	火	水	木	金	土
					1 [2倍]	2 [3倍]
3 ちびっこ	4 シルバー	5 メンズ	6 [3倍] 高齢者券	7 日帰り入浴休業	8	9
10	11	12	13	14	15	16
日帰り入浴休業						
17	18	19	20	21	22	23
日帰り入浴休業						
24 日帰り入浴休業	25	26 [3倍] 風呂の日	27 高齢者券	28 レディース	29 町民の日	30
31 大晦日: レストラン休業						

12月7日～12月25日
浴室内工事のため日帰り入浴を休業します
※レストランは通常営業

毎週日曜 ちびっこデー▶小学生はスタンプ2個
毎週月曜 シルバーデー▶65歳以上はポイント3倍
毎週火曜 メンズデー▶男性はスタンプ2個
毎週水曜 高齢者無料入浴券の日
▶町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが770円→570円
毎週木曜 レディースデー▶女性はスタンプ2個
最終金曜 町民の日
▶誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料
毎月26日 風呂の日▶町民は入浴無料
町内在住が確認できる身分証明書等の提示が必要
※対象外はポイント3倍、スタンプ2個
[2と6のつく日]▶ポイント3倍
[5のつく日]▶町交付の無料券利用でポイント5倍

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126 ※イベントは予告なく変更することがあります。



豊沢地区で新規就農

Vol.43 いしい じゅんじ 石井 淳司さん

3年間の地域おこし協力隊（農業支援員）を経て、今春から豊沢地区で新規就農しました。主力のイチゴを軸に、愛情を注いだホップも収穫を終えました。農園で育てたイチゴ「けんたろう」を原料にしたクラフトビールも10月末に完成。ビール工場を作りたいという夢に向かって歩みを進めています。秋晴れの農園で話を聞きました。

夫婦二人三脚の厚真産ビール誕生

「お久しぶりです。運良く就農できました。あのホップを使ったビールが完成しましたよ」。あのホップとは、農業支援員に就任して間もなく、間借りしていた家の庭先で育てたホップです。人を介して苗を調達し、10本10品種を試験栽培しました。収穫するまで3年かかるというわ、1株から50本以上に枝分かれする中から選定して幹を強くし、約120本の苗木を育てました。今年は6aを作付け、近い将来30aに拡大する予定です。「順調で、予定通りです」。自信に満ちていました。

畑には、高さ6mのパイプが約50本並んでいます。通常は、収穫しやすいように4mほどの高さに留めますが、あえて高くしています。「まんべんなく太陽光を当てて、味と香りを豊にするためです」と石井さん。水や温度管理に細心の注意を払いながら、安定品質をめざします。収穫したホップは、冷凍して知人と起業した函館市内の麦酒醸造所に輸送します。100ℓタ

ンク1基を使って「上面発酵」し、330ml瓶で300本を製造しました。第1弾の「厚真ホッピーPAいちご」は町内限定販売です（税込み990円）。3棟のビニールハウスでは、妻恵子さんが主力のイチゴを栽培しています。父は漁師で、厚真に来て初めての農業です。「暑さで大変でしたけれど、皆さんに喜んでいただけました。さらに美味しいイチゴを作ります」と、夫を見つめて白い歯をこぼしました。

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
みんな、みんな、**ATSUMA LOVERS**